

保護者の皆様へ

丹波篠山市立篠山東中学校
校長 尾松 直樹

「教育アンケート」のお礼と結果のお知らせ

大寒の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素は本校教育に対し温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申しあげます。

さて、「教育アンケート」では、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。遅くなりましたが、その結果についてご報告いたします。

皆様からいただきました貴重なご意見を参考に、今後の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

※「平均指數」は全学年の合計の平均値を表しています。また「指數順位」は、生徒、保護者ごとに平均指數の中での順位を高いものから順に表しています。

令和7年度丹波篠山市立篠山東中学校「学校評価」まとめ

分野① 「確かな学力」

対象	分野	質問内容	指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	昨年度		今年度		あてはま	あてはまらない	あまり	まったく	らあてなはいま
									% (4)	% (3)	あてはまる	よく	少し	(%)	(%)		
生徒	「確かな学力」	授業は工夫されており、分かりやすい。	6	3.44	5	3.46	6	3.43	48.1%	46.2%	94.2%	5.8%	0.0%	5.8%			
		ペア学習やグループ学習の話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている。	5	3.47	6	3.46	10	3.26	41.3%	43.3%	84.6%	13.5%	1.9%	15.4%			
		授業の最初に「めあて」が示され、最後には「ふりかえり」がされている。	16	2.95	17	3.02	17	2.99	18.3%	62.5%	80.8%	18.3%	1.0%	19.2%			
		平日（月～金）において、1～2時間程度、家庭学習をしている。※宿題、塾での学習も含める。	18	2.50	18	2.52	18	2.85	27.9%	38.5%	66.3%	23.1%	10.6%	33.7%			
		毎日、自主学習ノート（チャレンジノート）に取り組んでいる。	13	3.17	11	3.33	13	3.17	51.0%	24.0%	75.0%	18.3%	6.7%	25.0%			
		授業でわからないことは、休み時間、放課後の学習会（がんばりタイム）などを通して、先生がていねいに教えてくれる。	15	3.03	13	3.25	12	3.18	38.5%	43.3%	81.7%	15.4%	2.9%	18.3%			
保護者	「確かな学力」	学校は、授業を工夫し、分かりやすい授業をしている。	10	3.25	8	3.33	5	3.46	48.3%	49.4%	97.7%	2.3%	0.0%	2.3%			
		学校は、ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を授業に取り入れ、学習内容がよく理解できるようにしている。	6	3.39	7	3.37	11	3.33	35.6%	60.9%	96.6%	3.4%	0.0%	3.4%			
		お子様は、平日（月～金）、1～2時間程度、家庭学習ができている。※塾での学習も含める。	17	2.57	18	2.66	16	2.90	32.2%	34.5%	66.7%	23.0%	10.3%	33.3%			
		お子様は、毎日、自主学習ノート（チャレンジノート）に取り組んでいる。	11	3.21	9	3.32	13	3.23	54.0%	20.7%	74.7%	18.4%	6.9%	25.3%			
		お子様が、授業でわからなかったことを、休み時間、木曜日の放課後（がんばりタイム）などを通して、教えてもらう機会がある。	18	2.50	17	2.82	17	2.82	19.5%	47.1%	66.7%	27.6%	5.7%	33.3%			

考察

以前からの課題であった「家庭学習の定着」については、「生徒」「保護者」とともに今年度大幅に数値が上がっています。がんばりタイムやチャレンジノートを通した自主学習の定着をめざす取り組みが根付いてきたと考えています。引き続き、家庭学習を充実させる取り組みを工夫・改善していきます。一方で、「授業でわからないことをていねいに教えてもらえる」では、「生徒」「保護者」とともに数値が下がっています。がんばりタイムの内容を充実させていくことと、質問をしやすい雰囲気を作っていくことが必要だと考えています。生徒との日常の対話や関わりを大切にすることにより、質問しやすい関係性や雰囲気が生まれます。また、「わかりやすい授業」「話し合う活動」については生徒の数値が下がっており、授業の見直しとより一層の充実が不可欠です。生徒との関係づくりを基盤とし、わかりやすい授業づくりを進めていくことが大切であると考えます。

分野② 「やさしい心」

対象	分野	質問内容	指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	昨年度		今年度		あてはま	あてはまらない	あまり	まったく	らあてなはいま
									% (4)	% (3)	あてはまる	よく	少し	(%)	(%)		
生徒	「やさしい心」	「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	9	3.28	10	3.34	9	3.30	49.0%	36.5%	85.6%	7.7%	6.7%	14.4%			
		道徳の時間にしっかり考えることができている。	4	3.49	4	3.52	2	3.51	61.5%	28.8%	90.4%	7.7%	1.9%	9.6%			
		自分は丹波篠山が好きで、誇りを持っている。	10	3.28	12	3.30	11	3.24	46.2%	33.7%	79.8%	17.3%	2.9%	20.2%			
保護者	「やさしい心」	お子様は、「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	14	2.93	14	3.10	12	3.28	42.5%	44.8%	87.4%	8.0%	4.6%	12.6%			
		お子様は、人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる。	5	3.44	6	3.49	9	3.37	42.5%	50.6%	93.1%	6.9%	0.0%	6.9%			
		お子様は、「丹波篠山」が好きで、郷土愛を持っている。	12	3.08	13	3.14	15	2.96	24.1%	49.4%	73.6%	23.0%	3.4%	26.4%			

考察

「いじめを受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する」「道徳の時間にしっかり考えることができている」「人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる」が、高数値を示しています。道徳の時間や生徒会活動、その他の集会等を通して、「いじめは絶対に許さない」という姿勢や、人に優しく接する気持ちが育っていると考えられます。一方で、「いじめを受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する」項目で、「あてはまらない（相談しない）」生徒が14%います。昨年度よりも3ポイント減少していますが、いじめに気づいたり少しでも心が傷ついたりしたときには、心配や不安なくまわりの人（保護者や教師）、友だち等に相談できる環境や関係性を、さらに築き上げていくことが大切だと考えます。そのためにも、日常から生徒との関わりをより一層大切にし、家庭や地域との連携をより密にすることで、子どもたちの変化を見逃さない環境を一層強化していく必要があると考えます。また、「ふるさと教育」については、学校の取り組みとして創意工夫しながら、PTAや学校運営協議会と連携・協力しながら、今以上に進めていく必要があります。

分野③ 「たくましい心と体」

対象	分野	質問内容	指數順位	平均指數	一昨年度		昨年度		今年度					
					指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	% (4) % (3)		あてはまる	%(2) %(1)	あてはまらない	
									よく	少し				
生徒	「たくましい心と体」	自分にはよいところがある。	17	2.84	15	3.15	16	3.01	29.8%	47.1%	76.9%	16.3%	6.7%	23.1%
		学校に行くのが楽しい。	12	3.21	8	3.41	8	3.33	46.2%	43.3%	89.4%	6.7%	3.8%	10.6%
		先生は悩みや思いをしっかり聞いてくれる。	3	3.49	7	3.44	7	3.36	51.9%	34.6%	86.5%	10.6%	2.9%	13.5%
		家庭内や地域の中で、よくあいさつをしている。	2	3.63	2	3.62	3	3.50	58.7%	33.7%	92.3%	5.8%	1.9%	7.7%
		学校内や登下校中、安全に気をつけている。	1	3.65	1	3.65	1	3.55	59.6%	36.5%	96.2%	2.9%	1.0%	3.8%
		社会のルールや学校の生活の心得を意識して生活をしている。	8	3.39	9	3.41	5	3.43	51.0%	41.3%	92.3%	6.7%	1.0%	7.7%
		家庭内では親子でよく話をしている。	7	3.43	3	3.58	4	3.45	54.8%	35.6%	90.4%	8.7%	1.0%	9.6%
		部活動に意欲的に取り組んでいる。（入部していない場合は「0」）	11	3.27	14	3.16	14	3.15	55.8%	35.8%	91.6%	6.3%	2.1%	8.4%
保護者	「たくましい心と体」	情報機器（自分や家族の携帯・スマホ・コンピュータなど）の使い方について、家庭で約束が決められており、守っている。	14	3.08	16	3.10	15	3.02	32.7%	43.3%	76.0%	18.3%	5.8%	24.0%
		お子様は、学校に楽しく行っている。	7	3.29	5	3.55	4	3.49	57.5%	35.6%	93.1%	4.6%	2.3%	6.9%
		学校は、子どもの悩みや思いを聞いてくれる。	13	3.07	12	3.24	8	3.41	47.1%	46.0%	93.1%	6.9%	0.0%	6.9%
		お子様は、家庭や地域の中であいさつをしている。	4	3.49	4	3.57	6	3.42	47.1%	47.1%	94.3%	5.7%	0.0%	5.7%
		お子様は、登下校中など、安全に気をつけている。	2	3.60	3	3.57	3	3.53	58.6%	35.6%	94.3%	4.6%	1.1%	5.7%
		お子様に社会のルールを身につけさせるようにしている。	3	3.59	1	3.62	2	3.54	57.5%	37.9%	95.4%	4.6%	0.0%	4.6%
		家庭内では親子でよく対話している。	1	3.62	2	3.60	1	3.55	63.2%	27.6%	90.8%	9.2%	0.0%	9.2%
		お子様が現在、部活動に入部・活動している方にたずねます。お子様は、部活動に意欲的に取り組んでいる。（入部していない場合は「0」）	16	2.85	16	3.04	18	2.71	67.6%	23.5%	91.2%	5.9%	2.9%	8.8%
		情報機器（子ども本人のもの、家族のもの、一般的なもの）の使い方について、家庭で約束を決め、お子様に守らせている。	15	2.86	15	3.07	14	3.08	29.9%	52.9%	82.8%	12.6%	4.6%	17.2%

考察

「生徒」の「自分にはよいところがある」で、「あてはまる」の回答が76.9%となっており、昨年度よりも低下しています。また、「まったくあてはまらない」の回答もあり、生徒がそれぞれの目標にあったチャレンジができる場面を設定することやそれぞれの頑張りや個性を認めていくことで、自分に自信を持つように指導することが必要であると考えます。また、「学校に行くのが楽しい」「先生は悩みや思いをしっかり聞いてくれる」も「あてはまる」が高い数値となっていますが、この項目についても、「まったくあてはまらない」の回答があるので、学校が生徒にとって安全・安心な空間となるよう、日頃からの丁寧な観察と積極的な関わりをさらに継続していきます。

また、例年の傾向ではありますが、情報機器の取り扱いについては、「生徒」「保護者」とともに「家庭で約束が決められており、守っている（守らせている）」の項目について、「あてはまらない」の回答の割合が高くなっています。取り扱いについては、必ずご家庭でルールを話し合っていただき、「守られているか」「具体的で適切な約束なのか」を定期的に見直す機会を持っていただくよう協力を促す必要があると思われます。また、情報機器の使用時間だけでなく、情報機器の使い方や友だちとやりとりをしている内容についても確認しながら、有益な利用につなげていく必要があると考えます。

分野④ 「連携・協働」

対象	分野	質問内容	指數順位	平均指數	一昨年度		昨年度		今年度					
					指數順位	平均指數	指數順位	平均指數	% (4) % (3)		あてはまる	%(2) %(1)	あてはまらない	
									よく	少し				
保護者	「連携・協働」	学校だより、学級だより、保健だより、ホームページなどを通して、学校の様子がよく分かる。	9	3.26	11	3.27	10	3.34	42.5%	48.3%	90.8%	9.2%	0.0%	9.2%
		学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を積極的に進めている。	8	3.27	10	3.32	7	3.42	47.1%	47.1%	94.3%	5.7%	0.0%	5.7%

考察

概ね高い水準を示していますが、「あてはまらない」という回答も一定数あることから、今後も学校の教育活動について、より多くの関心を持っていただけるよう情報発信の仕方について工夫・改善に努めています。